

DMG MORI SAILING TEAM

– Vendée Globeへの道 –

皆さま、こんにちは！

「DMG MORI SAILING TEAM」と白石康次郎選手の挑戦をお伝えするメルマガ

『DMG MORI SAILING TEAM -Vendée Globe への道-』の第20号です。

ついに「Vendée Globe 2020」の優勝者が決まりました。

白石選手の情報と併せてお伝えします。



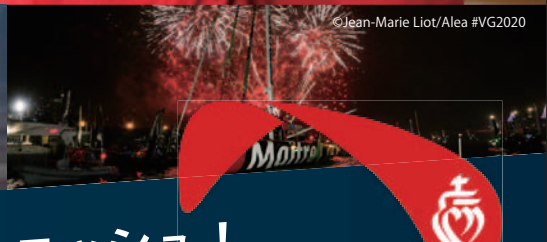
©Jean-Louis Carlil/Alea #VG2020



©Jean-Louis Carlil/Alea #VG2020



©Bernard Bars/Alea #VG2020



©Jean-Marie Liot/Alea #VG2020

ヤニック・ベスタベン選手がトップでフィニッシュ！ 白石選手もゴールを目指し大西洋を北上中！

熱戦が繰り広げられた「Vendée Globe 2020」の優勝者がついに決まりました。優勝は、ヤニック・ベスタベン選手(Maître CoQ IV)です。フィニッシュ自体は3番目のゴールでしたが、レース序盤に救難信号を出してリタイアしたケビン・エスコフィエ選手(PRБ)の救助に当たったため、この時間を差し引いた最終タイムが先にフィニッシュした2チームを上回ったため、繰り上げ優勝となりました。最終的な優勝タイムは、80日3時間44分46秒。最終的な優勝タイムは、記録だった「Vendée Globe 2016」の74日3時間35分46秒よりも6日遅れの80日3時間44分46秒。まさに80日間世界一周です。

ベスタベン選手は、ホーン岬を首位で通過しましたが、低気圧の影響で複数のセイルにダメージが出たため、減速を余儀なくされていました。予選レースの「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」で6位完走した実績があるとはいえ、トラブルを乗り越え、錚々たる有カスキッパーを抑えての優勝は素晴らしい一言です。また、48歳での優勝は、これまでの最年長記録（「Vendée Globe 2008」のミッシェル・デジュワイヨ選手の43歳）を塗り替える快挙となりました。ベスタベン選手、優勝おめでとうございます！

なお、1月31日現在で10選手がフィニッシュしています。1位のベスタベン選手から8位までが19時間にひしめき合うという熱戦でした。ゴール選手の詳細は、本メルマガ最後の順位表をご確認ください。

白石選手の最新情報

「Vendée Globe 2020」の舞台は南氷洋から大西洋へと移り、レースも終盤となっています。完走に向けて挑戦を続ける白石選手の動きからまとめておきましょう。

2020年のクリスマスイブにオーストラリア南西端のルーウィン岬を越えた白石選手にとって、次の目標となっていたのが、南アメリカ大陸最南端、チリのホーン岬です。

南氷洋と大西洋の境界となるホーン岬一帯は、東から西へと強い風が吹く難所で、大航海時代には多くの船が難破したことで知られています。大航海時代の探検家として知られるマゼランも、地球一周航海の際、ホーン岬を回り切れずに内陸側の海峡を抜けざるを得ませんでした。ちなみに、このときに通った海峡が有名なマゼラン海峡です。

ホーン岬を越えた者は「ケープホナー」と呼ばれ、金のイヤリングを耳につけ、酒場でテーブルの上に足を乗せて自慢話をしても許されるという言い伝えがあるほど、船乗りにとっての大きなステータスになっています。

南氷洋の最終盤に差し掛かった1月12日、白石選手は無事に南氷洋を乗り切ったお祝いに、ちょっとしたぜいたくを楽しみました。最後のフレッシュフードとなるオレンジと正月以来のお汁粉です。オレンジは、約2か月前にレ・サーブル・ドロンヌ港から持ってきたもの、お汁粉に入れる餅は、正月に飾った鏡餅を鏡開きしたものです。

鏡開きは日本の独自の風習です。本来は1月11日なので1日遅れではありますが、レースの最中でも、いや、むしろレースに出場しているからこそ、唯一のアジア人、そして日本人としての誇りを大切にしながら挑戦を続けています。

そして、1月14日、ついに白石選手はホーン岬を越えました。通過を伝えるビデオレポートでは、八海山を口にし、チームの支えと多くの声援に対して感謝の気持ちを語りました。



白石選手がついにホーン岬を通過。お馴染みの八海山で乾杯。

ちなみに、白石選手がホーン岬を越えるのはこれが4度目。1度目は1993年12月13日、26歳で単独無寄港無補給世界一周の史上最年少記録を打ち立てたとき、2度目は2003年3月3日、35歳で挑んだ単独世界一周ヨットレース「アラウンド・アローン」で4位に入ったとき、そして3度目が2007年2月13日、独世界一周ヨットレース「ファイブ・オーシャンズ」で2位を記録したときです。このときは40歳でした。

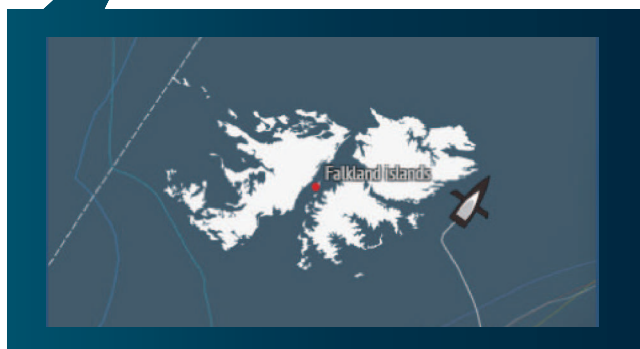
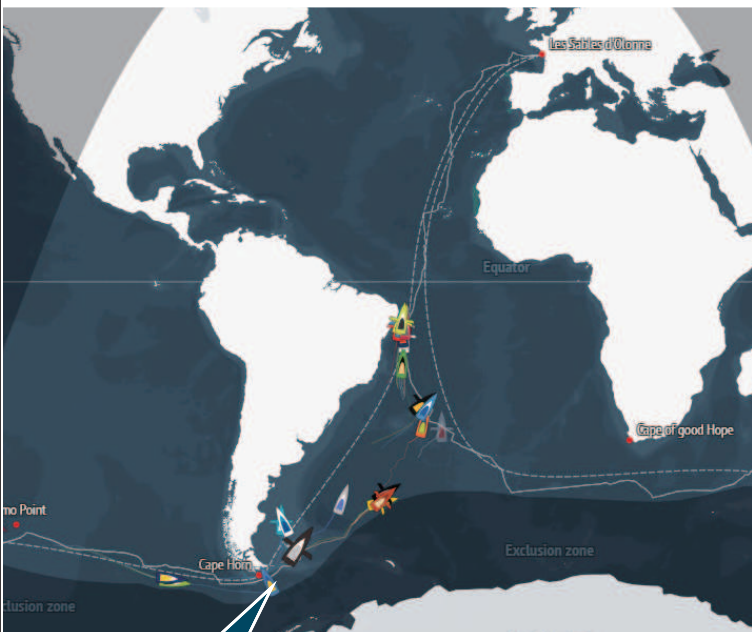


白石選手がホーン岬を越えるのはこれが4度目。いずれも世界一周を達成。

1月16日にはアルゼンチンのフォークランド諸島の近くを通過し、レーススタート以来、約2か月ぶりに陸地を目にした喜びをレポートしてくれました。



白石選手が指さす先にうっすらと見えているのがフォークランド諸島の一部。



フォークランド諸島の近くにコースを取るDMG MORI Global One号。
ここからゴールのレ・サブル・ドロンヌ港に向けて北上する。

ちなみに、白石選手にとって、このフォークランド沖には強い思い入れがあります。1982年、白石選手の師匠である多田雄幸さんが、愛艇オケラ5世号で単独世界一周ヨットレースの「第1回BOCチャレンジ」で優勝したときにこの海域を通り、世界的な冒険家の植村直己さんが乗る船とすれ違ったというエピソードがあるのです。

植村さんはこのとき、南極横断のためにアルゼンチンを訪れていたのですが、イギリスとアルゼンチンによるフォークランド諸島領有権をめぐる紛争が始まったため、断念を余儀なくされてしまいました。2人が海上ですれ違ったのは、植村さんが帰国の途についた船上でした。

多田さんと植村さんは、冒険家として深い親交があり、多田さんはアマチュア無線を使って失意の植村さんを励ました。白石選手はそのときの録音を耳にしたことがあり、冒険家同士の友情に感動しました。

「Vendée Globe 2020」でも、遭難した選手を助けたり、リタイアした選手に他選手から温かいメッセージが送られたりしています。いつの時代も、冒険家同士の絆は強く深いのですね。

フォークランド諸島を通り過ぎてからは風の状態も良く、順調にレースを進めることができています。1月21日のビデオレポートでは、「(ちょうど日本の)真裏なので距離は遠いけど、360度のどの角度からも同じ距離なので、四方八方から皆さんの声援が届きます」とのコメントがありました。

1月24日にはスコールを浴びて体全体を洗った姿、そして1月25日には、人気アニメ『鬼滅の刃』の主人公、竈門炭治郎のコスプレで「全集中、水の呼吸!」のポーズを決めるお茶目な姿も披露しました。



スコールのシャワーでリラックス、コスプレでおちゃめな姿を見せる白石選手。

そして1月28日、白石選手は17位で無事に赤道を通過しました。



恒例の八海山で赤道通過を祝う白石選手。

応急処置のセールでの航海に、何度も「奇跡だ」とコメントしている白石選手ですが、残る行程も約半月ほど。ゴールした時にはチームの仲間との乾杯が待っています。

「Vendée Globe 2020」レース展開

続いて、この2週間のレース展開についても情報をまとめておきましょう。

冒頭でもお伝えしているように、優勝を決めたベスタベン選手に続き、1月31日現在で10名のスキッパーがフィニッシュしています。ゴールタイムも含め、以下にまとめておきましょう。

ベスタベン選手以外に、ルカム選手とハーマン選手は、エスコフィエ選手の救助時間が差し引かれたタイムとなっているため、到着順と順位に違いがあります。

10選手のうち、ノンフォイル艇で挑戦したのが、ルカム選手、セギャン選手、デュトル選手、ソレル選手の4選手。白石選手の愛艇だったSpirit of yukoh IV号を受け継いだデュトル選手は9位での完走を果たしました。また、2位に入ったダラン選手は、初出場での2位という快挙を成し遂げています。

白石選手をはじめ、このあとも続々とゴールが続きます。さまざまな困難を乗り越えて完走を果たした選手たちに拍手を送りましょう。

上位陣がゴールしているとはいえ、レース全体の行方も気になります。前回のメルマガで、女性スキッパーのイザベル・ヨシユク選手(MACSF)が7艇目のリタイアとなってしまったことをお伝えしましたが、この2週間で新たに8艇目のリタイアチームが出てしまいました。次ページでお伝えします。

順位	選手(チーム)	所要時間	ゴール時間 (UTC)
1位	ヤニック・ベスタベン (Maitre CoQ IV)	80日 3時間 44分 46秒	2021年1月28日03時19分46秒
2位	シャルリー・ダラン (APIVIA)	80日 6時間 15分 47秒	2021年1月27日19時35分47秒
3位	ルイ・バートン (BUREAU VALLEE 2)	80日 10時間 25分 12秒	2021年1月27日23時45分12秒
4位	ジャン・ルカム (Yes we Cam !)	80日 13時間 44分 55秒	2021年1月28日19時19分55秒
5位	ボリス・ハーマン (MALIZIA II - YACHT CLUB DE MONACO)	80日 14時間 59分 45秒	2021年1月28日10時19分45秒
6位	トマ・ルイヤン (LinkedOut)	80日 15時間 22分 01秒	2021年1月28日04時42分01秒
7位	ダミアン・セギャン (GROUPE APICIL)	80日 21時間 58分 20秒	2021年1月28日11時18分20秒
8位	ジャンカルロ・ペドテ (PRYSMIAN GROUP)	80日 22時間 42分 20秒	2021年1月28日12時02分20秒
9位	バンジャマン・デュトル (WATER FAMILY-OCEANIAHOTELS)	81日 19時間 45分 20秒	2021年1月29日09時05分20秒
10位	マクシム・ソレル (V AND B-MAYENNE)	82日 14時間 30分 15秒	2021年1月30日03時50分15秒

レース中盤以降、最下位でレースを続けていたセバスティアン・デストルモ選手(MERCI)です。

セバスティアン・デストルモ選手(仏・豪/57歳)
MERCI(メルシー)



デストルモ選手は、ステアリングシステムやオートパイロット(自動操舵装置)に問題を抱えていましたが、修理備品が不足していたため、レース続行が不可能だと判断してリタイアを決断しました。

この他、苦戦を強いられているのは、マニユエル・クザン選手(GROUPE SÉTIN)と女性スキッパーのピップ・ヘアー選手(PIP HARE OCEAN RACING)です。

クザン選手は、オートパイロットの不具合で船がワイルドジャイブし、その衝撃でメインセールが損傷してしまいました。これは、11月中旬に白石選手に起きたトラブルとまったく同じ状況です。

ヘアー選手は、1月6日に右舷ラダーに亀裂を発見し、それ以降、亀裂が広がったため、スペアとの交換を試みましたが、荒れた南氷洋海域での作業は危険で困難でしたが、無事に交換を完了し、引き続きレースを続けています。

上位陣がゴールを駆け抜けているとはいえ、まだまだレースは続行中。序盤で大きく出遅れたベユ選手が何位でゴールするかも注目点ですし、白石選手も無事に赤道を通過、ゴールに向かって大西洋を北上しており、順調なら2月中旬ごろにはゴールできる見込みです。引き続き、白石選手に熱い応援をよろしくお願いします。

「Vendée Globe 2020」

トラッキングサイトはコチラ

<https://en.dmgmori.com/company/dmg-mori-sailing-team-jp>



こちらより最新情報をチェック！

@gokojiro_vendeeglobe2020

白石康次郎 Vendée Globe 応援アカウント
ぜひフォローをお願いします！



GOLD SPONSOR

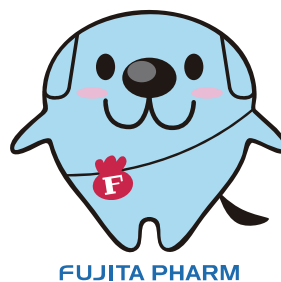


SILVER SPONSOR

GOLDWIN



BRONZE SPONSOR



OFFICIAL SPONSOR



HAIMER



KODEN



医療法人社団 愛友会
上尾中央総合病院
Ageo Central General Hospital